

令和4年 労働災害発生状況（7月末現在・休業4日以上）

～休業災害は対前年比**6.9%**増加、**死亡災害2件**発生～

長岡労働基準監督署

	過去3年間の発生状況			対前年同期				事故の型							
	元年	2年	3年	3年7月末	4年7月末(速報値)	増減	率(%)	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	巻き込まれ	切れ・こすれ	交通事故	その他
製 造 業	100	98	② 108	② 70	53	-17	-24.3	6	10	1	7	16	6	0	7
食料品	33	24	31	20	13	-7	-35.0	2	4		1	3	1		2
繊維工業		2	1												
衣服・その他繊維工業		1	1		1	1			1						
木材・木製品	1	3			1	1							1		
家具・装備品	1	1													
パルプ・紙・紙加工品	1	6	6	4		-4	-100.0								
印刷・製本業			1												
化学工業	2	1	3	3	1	-2	-66.7					1			
窯業土石製品	3	8	5	4	1	-3	-75.0			1					
鉄鋼業	9	6	① 12	① 6	8	2	+33.3	1			2	3			2
非鉄金属		1	1	1	2	1	+100.0					1	1		
金属製品	12	15	8	4	6	2	+50.0		1			3	2		
一般機械器具	19	13	14	10	12	2	+20.0	2	2		4	3	1		
電気機械器具	7	8	10	7	3	-4	-57.1		1			1			1
輸送用機械等	3	1	3	3	1	-2	-66.7		1						
電気・ガス・水道業	1	1	2	1		-1	-100.0								
その他の製造業	8	7	① 10	① 7	4	-3	-42.9	1				1			2
鉱 業	1		3	1	1	0		0	0	0	0	1	0	0	0
土石採取業	1		3	1	1							1			
その他の鉱業															
建 設 業	② 55	② 58	66	31	① 35	4	+12.9	11	5	2	3	4	1		① 9
土木工事	② 13	① 12	19	10	9	-1	-10.0	2	2		3				2
建築工事	37	① 39	33	17	21	4	+23.5	9	2	2		2	1		5
うち木造建築工事	8	① 13	9	5	6	1	+20.0	2		1		2			1
その他の建設工事	5	7	14	4	① 5	1	+25.0		1			2			① 2
運 輸 交 通 業	41	39	49	28	27	-1	-3.6	7	7	1	2	2	0	1	7
鉄道・水運・道路旅客運送	3	5	1		3	3		1				1			1
道路貨物運送	38	34	48	28	24	-4	-14.3	6	7	1	2	1		1	6
貨 物 取 扱 業	2	3	0	0	0	2		0	0	0	0	0	0	0	0
農 林 業	3	11	8	4	0	-4	-100.0	0	0	0	0	0	0	0	0
畜 産 ・ 水 産 業	2	6	1	1	3	2	+200.0	0	1	1	0	0	0	0	1
そ の 他 の 事 業	① 189	① 163	② 201	① 110	① 143	33	+30.0	8	39	4		5	1	3	① 83
卸売業	18	9	10	5	① 4	-1	-20.0		3						① 1
小売業	42	35	① 52	32	17	-15	-46.9		7	1			1	2	6
社会福祉施設	32	36	① 41	① 21	66	45	+214.3	1	9	2		1			53
飲食店	15	11	11	5	4	-1	-20.0		3						1
旅館業	6	6	2	1	1				1						
ゴルフ場	2		4	2		-2	-100.0								
清掃・と畜業(除ビルメン)	13	5	9	6	7	1	+16.7	1	4			2			
ビルメンテナンス業	11	8	16	11	8	-3	-27.3	2	4	1					1
警備業	① 4	① 5	5	2	4	2	+100.0	1	1						2
その他	46	48	51	25	32	7	+28.0	3	7			2		1	19
総 計	③ 393	③ 378	④ 436	③ 245	② 262	17	+6.9	32	62	9	12	28	8	4	② 107

※休業4日以上の労働者死傷病報告及び死亡災害報告を基に集計 ○内の数字は死亡災害の件数を表す



トキろうくん

新潟労働局でSNS（YouTube、Twitter、LINE）を始めました！よろしくお願ひします。



STOP! 転倒災害

プロジェクト

- ▶ 転倒災害は、大きく3種類に分けられます。
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。
具体的な対策はこちらをチェック！



厚生労働省

STOP! 転倒

検索

※転倒・腰痛防止用の視聴覚教材も掲載しています

エイジフレンドリーガイドライン

(高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン)

厚生労働省では、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」(エイジフレンドリーガイドライン。以下「ガイドライン」)を策定しました。

働く高齢者の特性に配慮したエイジフレンドリーな職場を目指しましょう。



※考慮事項※

- ・職場改善ツール「エイジアクション100」のチェックリストの活用も有効です→
- ・必要に応じフレイルやロコモティブシンドロームについても考慮します
 - ※フレイル: 加齢とともに、筋力や認知機能等の心身の活力が低下し、生活機能障害や要介護状態等の危険性が高くなった状態
 - ※ロコモティブシンドローム: 年齢とともに骨や関節、筋肉等運動器の衰えが原因で「立つ」、「歩く」といった機能(移動機能)が低下している状態
- ・社会福祉施設、飲食店等での家庭生活と同様の作業にもリスクが潜んでいます

STOP! 熱中症

クールワークキャンペーン

令和4年5月~9月

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約600人が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう！



労働災害防止キャラクター **フェーイ カンゴ**

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

- 実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）

